

# 「財政危機」の原因と責任を明らかにし、

正副議長の辞職により選挙が行われ、新しい議長には宮寄議員が、副議長には丸山議員が選出されました。山田裕康議員と山田充議員が辞職したのは西澤議員以外の「申し合わせ」によるものと見られます。

本会議開会に先立って開かれた全員協議会で、議長選には宮寄議員が、副議長選には丸山議員が立候補の所信表明。投票結果は下の別掲参照。

2年任期到来と辞職に伴い各委員会の構成も一部改選が行われ、木村修監査委員の辞職に伴い議会選出監査委員には新しく阪東議員の就任（町長提案）が同意されました（下記別掲参照）。

なお、西澤議員は、阪東議員およ

# 町民のくらし・福祉・教育を犠牲にするな

び丸山議員がそれぞれ議長時代に議員の発言権を保証し公正・公平な議会運営に努めたこと、行政側に不十分な答弁があれば的確な指示を發していたことなどを評価し投票しました。

## 野瀬町長「財政危機宣言」

2月4日、議会全員協議会において、野瀬町長は1月19日付け書面を示し町議会議員に向けて「財政危機宣言」を行いました。その書面によれば、「子育て世帯臨時特別給付金」一人10万円の内、一人5万円の財源手当ができるず、国の補正予算成立後に専決補正を行った、とのこと。また、令和4年度予算編成の最中で「予算要求に対して約2億円」の財源不足から「各課で9.8%削減」

の作業中としています。そのうえで「その責任を重く受け止めているところです」と記し、「危機を脱する」ため改善策を「断行する決意」が述べられています。

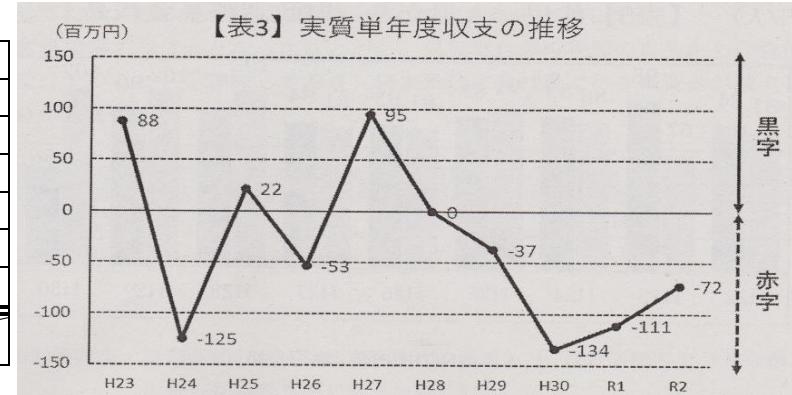
## 野瀬町長 4年連續単年度赤字

これに対し、西澤議員は、野瀬町政になってからは4年連続で「実質単年度収支」が「赤字」となっています（下記の棒グラフ参照）、財政危機に陥った原因の分析が抜け落ちていること、これでは真の反省にはならないと批判。歴代の町政が毎年度1千万円前後の不能欠損を重ね、徴収できる税金を安易に債権放棄してきたこと、同和対策事業の新築資金貸付金の焦げ付きが滞納額の半分を占

め、長年放置した上、滞納処分の裁判には多額の弁護士費用をかけていること、更には町職員で作業が可能な事業までも外部委託をしてきたことなどを厳しく指摘しました。

今後、策定する「財政健全化計画」では、▶中学校卒業まで医療費無料▶ゴミ週2回収集▶外出支援▶せせらぎ探検隊など町民のくらし・営業・教育・医療などを支える予算が縮小・廃止される恐れがあり、「町民の福祉・くらし・教育などを犠牲にするな」の声を大きくしていかねばなりません。

議会で配布された資料より



### ◆議長選挙

宮寄議員 10票  
阪東議員 1票

### ◆副議長選挙

丸山議員 11票

## 甲良民報

2022年2月13日 845号  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在土373（西澤）  
Tel：38-4949 Fax：38-2242

委員会など	委員長	副委員長
総務民生常任委員会	○建部 孝夫	○西澤 伸明
産業建設教育常任委員会	◎岡田 隆行	◎小森 正彦
予算決算常任委員会	◎山田 裕康	◎木村 修
議会運営委員会	◎丸山 恵二	○建部 孝夫
議会広報特別委員会	◎丸山 恵二	△岡田 隆行
議会改革調査検討特別委員会	◇西澤 伸明	◇建部 孝夫
議会選出監査委員	◎阪東 佐智男	

◎=新任、○=再任、△=継続

### ご相談・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもご覧ください【「西澤伸明」で検索】